

重点14 学習環境の改善

2 耐震補強の状況

ねらい

地震時における幼児・児童・生徒の安全を確保するとともに、地域の防災拠点としての機能向上を図るために校舎・体育館等の耐震性能を向上させます。

現状と課題

- 昭和56年新耐震基準以前に建設された校舎及び体育館について耐震診断調査を行い、その結果を受けて補強が必要なものについては、耐震鉄筋コンクリート壁の増設、鉄骨筋交いの増設などの補強工事を年次的に施工してきて、小・中学校においては校舎（平屋建て等の小規模施設を除く）及び体育館（武道場を除く）の耐震補強工事は完了しております。
- 平屋建て等の小規模面積の施設について、確認のため平成19年度にて耐震診断を行いました。その結果耐震化を要する施設のあることが判明し、補強の施工が課題となっています。

本市の耐震化状況(平成21年4月1日現在、文部科学省実施調査結果)

区分		全校数	全棟数 A	S57以後 建築棟数 B	S56以前 建築棟数	補強不要 棟数 C	補強済 棟数 D	補強 必要 棟数	診断 未実施 棟数	耐震化率 B+C+D/A
小学校	校舎	40	176	73	103	34	68	0	1	99.4%
	体育館		40	14	26	9	17	0	0	100.0%
計		40	216	87	129	43	85	0	1	99.5%
中学校	校舎	22	92	41	51	15	36	0	0	100.0%
	体育館		39	23	16	4	11	1	0	97.4%
計		22	131	64	67	19	47	1	0	99.2%
小・中合計	校舎	62	268	114	154	49	104	0	1	99.6%
	体育館		79	37	42	13	28	1	0	98.7%
	合計	62	347	151	196	62	132	1	1	99.4%
三重県平均(小・中)										89.0%
全国平均(小・中)										67.0%
幼稚園	園舎	24	23	8	15	7	3	5	0	78.3%
三重県平均(幼)										65.6%
全国平均(幼)										60.1%

中学校体育館は武道場も含む。

今後の改善方針

平成19年度に行った耐震診断の結果により、耐震化を要することが判明した平屋建て等の小規模施設等について、今後補強を施工していく予定です。